様式２－１（使用料制施設用）

管理運営状況評価書 【対象年度：平成２２年度】

課名　　生涯学習まちづくり課

施設名	掛川市茶室（二の丸茶室）
条例名	掛川市茶室条例
施設設置目的	茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図るため

指定管理者名	（財）掛川市生涯学習振興公社
指定期間	平成20年４月１日から平成23年３月31日まで
自主事業の有無	有り　　（事業費28千円）
指定事業の有無	無し　　（事業費　　千円）
使用料制・利用料金制の別	使用料制

決算状況等（単位：千円）		H18	H19	H20	H21	H22	備考
	指定管理料（A）	18,800	15,850	16,398	17,500	12,400	詳細様式2-2
	施設利用料（B）	11,054	4,958	5,198	5,320	5,440	
	差引（B－A）	△ 7,746	△ 10,892	△ 11,200	△ 12,180	△ 6,960	

事業報告書	有り（法第244条の２第７項による義務付け）
利用者満足度調査等実施の有無	有り（講座等のアンケート）

評価	評価内容	結　　果	改　善　策
	１　施設運営目的の達成度	22年度の入館者数は13,588人で242人前年度を上回った。部屋の貸し出しについても61回あり、茶道文化の普及継承の場として大変よく活用していると判断する。	茶室というと一般の人は着物でなくては入れない、正座が出来ないと入れない等硬く考えられてしまい、入館者が増えない。横ばい状態である。更に多くの人に茶道文化を親しんでもらうためにジーパンでも入れます。喫茶店感覚で入れますと言うような気軽に入れるPRが必要
	２　利用者満足度	入館者へのアンケート調査によると大部分の方が入館したことに満足しており、茶室のあり方に満足している。	
	３　効率的な運営	休館日が月1日しかないが、指定管理者のパート職員5人と嘱託職員1人で勤務表を組み連携の取れた管理をしている。予算的にも削れるだけ削った予算で対応している。	更なる発展のため他の茶室の管理運営方法、利用者への接遇方法を視察研修し、取り入れていく工夫が必要と思う。視察研修費の予算が必要と思う。
	４　その他の課題等	二の丸茶室の主な管理運営業務は、掛川市生涯学習振興公社への管理、呈茶サービス業務は掛川市文化協会茶道部に委託して管理運営しているが連携が良く取れるよう振興公社の中に呈茶サービス業務を盛り込んだほうがより効率的と思う。	掛川市生涯学習振興公社と掛川市文化協会茶道部との話し合い、了解が必要

様式２－２（使用料制施設用）

掛川市茶室（二の丸茶室）

＜指定管理料内訳（Ａ）＞ （単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
人　件　費	7,278,074	7,049,762	7,282,829	
委　託　料	5,401,964	5,561,497	956,242	
警備保障業務	252,000	327,600	317,520	
空調機保守点検	182,700	182,700	182,700	
庭園維持管理	4,625,720	4,592,960		
浄化槽維持管理点検	0	112,948	112,980	
清掃業務	341,544	345,289	343,042	
印　刷　費	0	0	0	
通　信　費	3,150	6,073	53,623	
修　繕　費	12,600	488,292	186,732	
清　掃　費				
保　守　点　検　費				
借　上　料	55,440	55,440	133,040	
光　熱　水　費	712,536	685,868	730,975	
燃　料　費	0	0	0	
保 険 料	1,800	2,790	4,060	
そ　の　他	2,932,436	3,650,278	3,052,499	
合　　計	16,398,000	17,500,000	12,400,000	

＜施設利用料（Ｂ）＞ （単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用料収入	5,198,750	5,321,550	5,440,250	掛川市へ収入

＜施設利用者数＞ （単位：人）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用者数	13,761	13,346	13,588	